



## 【韓国】 総合指数は週間で0.3%安と反落、新型コロナ懸念で今週も上値重い

### 先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.3%安と反落した。週明け22日は前週末比0.7%安と反落。新型コロナウイルスの感染再拡大への警戒感が広がる中、6月1-20日の輸出額が前年同期比で7.5%減少したことが嫌気された。23-24日は上昇。米中貿易合意に関するトランプ米大統領のツイートや北朝鮮が韓国に対する軍事行動計画の延期を決めたとの報道が好感された。25日はIMFによる世界経済見通しの下方修正が投資家心理を悪化させたほか、韓国政府がキャピタルゲイン税の対象を拡大すると提案したことも嫌気され、2.3%安と3日ぶりに反落した。今週も上値の重い展開か。世界各地で新型コロナの感染拡大が続いているほか、米中貿易摩擦や朝鮮半島情勢が懸念材料。今週は7月1日に6月の貿易統計が発表される予定。

▼指数チャート



## 【ロシア】 RTS 指数は0.2%安と反落、今週は原油や欧米株価に左右される展開か

### 先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で0.2%安と反落。週前半は続伸したが、原油相場の反落やIMFの成長率見通し引き下げを受けて週後半に失速した。週前半は原油高、ルーブル高、欧州の経済活動再開を好感し堅調に推移。指数は23日まで3日続伸し、一時的に6月10日以来の高値となる1282.95ドルまで上昇した。ただ、24日の休場を挟んで週後半は原油相場の反落やIMFの世界経済成長見通しの引き下げ、米国などでのコロナ感染再拡大などを受けて反落。RTS 指数は前週末の水準を割り込んで週を終えた。個別では産金のポリウス・ゴールドが6.1%高、資源のGMKノリルスクニッケルが3.5%高となった一方、エネルギーのノバテクが3.2%安、タトネフチが2.4%安と下落した。今週は原油相場や欧米株価をにらんだ展開か。

▼指数チャート



## 【ベトナム】 ベトナム指数は1.9%安と反落、今週も米国のコロナ感染再拡大が重

しか

### 先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.9%安と反落。前週の上昇のけん引役となった不動産セクターで利益確定売りが強まったほか、欧米株安を受けて金融などの時価総額上位銘柄も売られ、23日から4日続落した。指数は前週末の流れを受けて週初の22日に続伸してスタートしたが、23日はビンググループなどの不動産株が利益確定売りに押され、指数は4日ぶりに反落した。24日は幅広いセクターに利益確定売りが広がり、25日も欧米株安を受けてセンチメントが悪化。26日も大型株中心に売られ、指数は4日続落となった。個別では不動産のビンググループが6.0%安、金融のベトナム投資開発銀行が3.7%安、ベトインバンクが3.4%安、ベトコムバンクが2.5%安と指数を押し下げた。今週は米国などでのコロナ感染の再拡大が引き続き重しか。

▼指数チャート



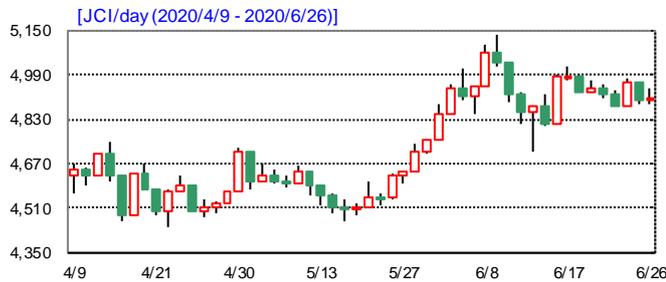


## 【インドネシア】

**【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.8%安、新型コロナウイルスの感染者数増加を嫌気**

ジャカルタ総合指数は週間で 0.8%安と反落。国内の重要イベントが少ない中、不安定な値動きが続いた。週初の 22 日は金融株が指数下落を主導し反落。23 日も売り優勢の展開が続いたが、24 日は前日の NY ダウが貿易問題を巡る米中関係の悪化懸念の後退を受けて続伸した流れを引き継ぎ、前日比 1.8%高と反発した。一方、25 日は国内の新型コロナウイルスの累計感染者数が 5 万人を超えたことが嫌気され、前日比 1.4%安と反落。ただ、26 日には小幅に買い戻されて取引を終えている。今週は 1 日に 6 月の CPI が発表される予定。外部要因では中国の 6 月の公式製造業 PMI と財新製造業 PMI が焦点になりそうだ。

### ▼指数チャート

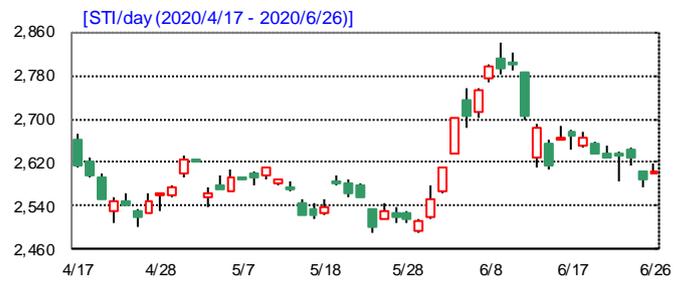


## 【シンガポール】

**【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 1.2%安、7 月 10 日に総選挙実施へ**

ストレーツタイムズ指数は週間で 1.2%安と 3 週続落。週末の反発が下げ幅を縮めた。22 日は方向感に乏しく小幅ながら 3 営業日続落。一方、23 日は、国会が解散され、7 月 10 日に総選挙が実施されるとの発表が買い材料視されて反発した。ただ、24 日に反落すると、25 日は新型コロナウイルスの世界的な感染者数増加が嫌気され、指数は終値で前日比 1.5%安と 2600 ポイントを割り込んだ。26 日は 5 月の鉱工業生産が前年同月比 7.4%減と 3 カ月ぶりに前年同月の水準を下回ったものの影響は小さく、この水準を回復して引けている。今週は 3 日に 5 月の小売売上高と 6 月の製造業 PMI が発表される予定。

### ▼指数チャート

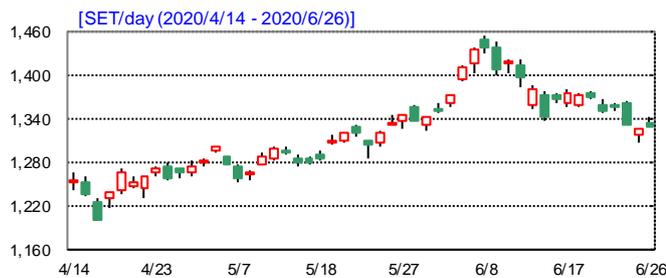


## 【タイ】

**【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 3.0%安、中央銀行が今年の経済成長率見通しを下方修正**

SET 指数は週間で 3.0%安と 3 週続落。買い材料に乏しく、さえない値動きだった。週初の 22 日は、前週末に中央銀行が商業銀行に対し、コロナ禍での資本維持を目的として中間配当の支払い凍結と自社株買いの停止を要請した影響で金融株が売られ、指数は前営業日比 1.4%安と 3 日続落。23 日は反発したが、24 日は中央銀行が今年の経済成長率の見通しを下方修正したことが嫌気され、前日比 1.7%安と反落した。週後半は 25 日に前日の NY ダウが大幅反落した流れを引き継ぎ続落したが、26 日は買い戻されて取引を終えている。今週は 29 日の 5 月の鉱工業生産に続き、3 日には 6 月の CPI が発表される予定。

### ▼指数チャート

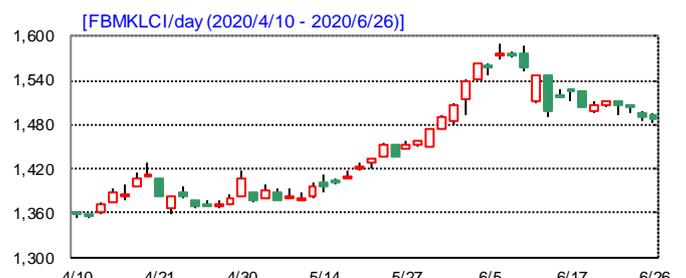


## 【マレーシア】

**【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.3%安、ゴム手袋メーカーに超過利潤税適用の憶測で売り**

クアラルンプール総合指数は週間で 1.3%安と 3 週続落。軟調な値動きが続き、週後半は終始 1400 ポイント台での取引となった。22 日は引け際の買い戻しが奏功し続伸。ただ、23 日に反落すると、その後も買い材料に乏しく売り優勢の展開が続いた。25 日は世界銀行がマレーシアの今年の GDP 成長率の見通しを前年比 3.1%減に下方修正した影響で売られ、終値で 8 営業日ぶりに 1500 ポイントを割り込んだ。26 日はゴム手袋メーカーに対し、超過利潤税が課税されるとの憶測が広がり、トップ・グローブとハルタレガが指数下落を主導。結局、4 日続落して引けた。今週は 29 日発表の 5 月の貿易統計が焦点。

### ▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。